

日 時：2022年3月28日(月)16:00 - 18:00

形 式：ZOOMオンライン会議開催

参加数：9企業 10名

テーマ：2021年度MTF活動の振り返りと、今後の医療インバウンドの方向性について意見交換

コンプライアンス宣言

私達、医療渡航フォーラム会員は、MTF会則の行動規範に基づき、渡航受診者が「患者中心の合理的医療」を受けられるよう高い倫理性と順法の精神をもって行動し、より高品質な医療渡航支援を提供することにより、日本の医療への貢献および、日本への医療渡航の発展を目指すことを宣言します。

MTF座談会は、会員様のみのお会であり、乳業おたく、自由開演にご意見やお悩みを共有し合うことを主旨としております。このようなワーズな場であっても特に価格に関する言動は、カルテル（不自然取引制限）に抵触する可能性があるため、コンプライアンスを厳密に遵守しましょう。

必ず意見交換開始前に上記スライドを投影し、参加者全員の宣言を確認後、座談会を開始。MTF会員は常にコンプライアンスを遵守致します。

【座談会の内容】

今回は2021年度最後の座談会として、昨年5月設立以降のMTF活動を振り返るとともに、参加社自身の事業活動の振り返りやMTF活動に対する意見を伺った。コロナ禍で医療インバウンド事業が厳しい中、本業以外の業務を兼務されたり、医療機関開拓などより積極的に動かれたり、中国側で医療従事されたりと、コロナ収束後の市場復活に備え、各社工夫しながら事業維持をされている状況を共有し、また、マッチングや座談会の活動に関しては、参加することで得られる情報や医療機関との接点はとても有益であるとの感想があった。マッチング後、すでに数社は実案件を進めており、あらためてマッチングの効果を実感するとともに、マッチング相手双方にとって新しい可能性や気づきに繋がるよう、今後、よりマッチング対象を広げていきたいと考えている。

後半は、今後の医療インバウンドの方向性について意見交換を行った。ここ数年、中国における医療機関の進歩が著しく、今後日本への医療渡航ニーズの減少を懸念しながら新たな一手を模索している状況であり、日本の医療の強みを今一度見直す必要があるとの意見があった。新しいビジネス展開の一案として、中国内の健診レベル向上による疾患の『早期発見』、日本人間ドック学会認証の健診センターを増やしていく取組み実例を、中国の医療事情、課題など参考データとともに紹介した。中国の医療環境の進歩が著しいとは言え、中国内の医療格差、サービスレベルの不均等、人材不足、品質レベル、信頼性と依然として課題は山積しており、中国内で健診者数が増えることで、中国の医療機関では対応しきれない部分や、自国の医療品質・技術に懐疑的な患者層を日本の医療機関に繋ぎ、アフターフォローは日本医師の指示書のもとに中国内で対応するなど、各ステークホルダーの業務分担が明確であり、患者の安心感にもつながるスキームである。中国の医療機関と直連携は困難であるが、健診センター連携は新たなビジネス展開が期待でき、このスキームには日本の渡航支援企業が欠かせないため、今後軌道にのり始めた際には、MTF会員に紹介していく予定である。

【ご案内】

《 日台医療相互協力セミナーのご案内（オンライン開催） 》

開催日時：2022年4月13日(水)15:00-18:00

参加申込：以下のURLもしくは右側のQRコードからお申込ください。

<https://forms.gle/E62nd2hPe22qvAjL9> (申込メ切:4月12日(火)12:00まで)



※次年度のMTFイベントに関しましては、内容を精査の上、あらためて皆様にお知らせいたします。